

海老名市立海老名中学校 学校運営協議会 議事録
(令和3年度 第2回)

- 1 日時 令和3年10月28日(木) 13:30~15:00
- 2 場所 海老名市立海老名中学校 会議室
- 3 出席委員 大島直子委員長、小坂浩久副委員長、真壁坤子委員、渡部美憲委員
山田佳子委員、小田島恵子委員、小松聡委員、藤木裕史委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

大島校長：緊急事態宣言中に2学期始業となり、計画を変更して進めている。感染状況が落ち着いてきて、感染症対策を継続しながら今できることを考え教育活動を実施していく。

(2) 学校の様子

大島校長：前回の協議会から現在に至るまでの教育活動について、感染症対策をしながらそのときの状況によって実施したことを説明した。

(3) 全国学力・学習状況調査の結果

大島校長：現在分析している。生徒質問紙の結果について、回答から「よかったところ」「課題と思われるところ」を口頭説明した。今後、市HPにて公開。

(4) 意見交換

渡部委員：コロナ禍による良い変化も課題と思われる変化も検証されない中で進んでいることを懸念している。体温を感じる大切さもあるので、変化を再考する必要がある。

小坂委員：大切なものを見失わない活動をしたいと考えている。

真壁委員：コロナ禍で家庭にいる時間が長く心配される事案もある。

山田委員：つなげていくこと、変えていくことを見極める必要がある。保護者との連携も大切である。

小松委員：家庭のWi-Fi状況はどうであるか？

小坂委員：多くはつながっているが、市で貸出の準備を進めている。

小松委員：全国学力・学習状況調査生徒質問紙の活用はどうなっているか？

小坂委員：分析して積み重ねている。必要な取組を考えたり、家庭の協力をお願いしたりしている。

小田島委員：コロナ禍で不登校等になる生徒が増えていないか心配である。

(5) その他

次回の、学校運営協議会は、令和4年1月27日(木)13:30から開催予定。